

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 清流アスリート強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 競技スポーツ課 競技スポーツ係 電話番号：058-272-1111(内2641)

E-mail：c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 134,447 千円 (前年度予算額： 134,047 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	134,047	0	0	0	0	0	0	0	134,047
要求額	134,447	0	0	0	0	0	0	0	134,447
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

全国・世界大会での活躍が期待できる、県内の社会人、大学のトップチームや選手、更に次世代の成年選手となる高校部活動、クラブ、少年選手に対して強化費を助成する。また、トップアスリートの活動拠点としてトップアスリート強化拠点クラブの運営を支援することで、ぎふ清流国体開催で向上した競技力の維持、向上を図る。

(2) 事業内容

- ・競技力向上強化活動に係る経費を助成する。
- ・地域に密着したトップアスリート拠点クラブ（3クラブ）に対して運営補助し、スポーツ教室等によるジュニア育成を通じて、競技力の向上と地域の活性化を図る。
 - 飛騨高山ブラックブルズ岐阜 大垣ミナモトソフトボールクラブ
 - 日本エコシステム

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10（一部指定チーム・個人・拠点クラブ等負担金有）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	124,006	拠点3クラブ運営助成費等
旅費	5,153	国体視察、各種競技会激励等
消耗品費	2,940	事務消耗品、指定証関連経費等
燃料費	400	公用車ガソリン代等
会議費	10	会議飲料代
印刷製本費	250	資料作成費等
修繕費	300	公用車修理費等
役員費	650	通信運搬費等
保険料	25	公用車車検
使用料及び賃貸料	650	会議室借上料、公用車ETC資料料等
負担金及び補助金	50	各種会費的負担金
公課費	13	
合計	134,447	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例第13条
第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 事業主体及び妥当性

・県が拠点クラブ及びトップチーム・選手の実績を見極めながら継続的に支援することにより、競技力水準の維持・向上が図られるとともに、その後の指導者確保も期待できる。

・拠点クラブで活動するトップアスリートが地域スポーツ活動への参加やジュニアを指導することで、地域スポーツの実施率が向上するとともに、新たな才能の発掘と未来のトップアスリートが育成される。また指導者としての意識高揚につながる。

・競技力向上の基礎となるジュニアからユース世代において、学校部活動、少年クラブが大きな役割を果たしている。

以上の理由により県負担は妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内のトップチーム、アスリートの強化活動を支援し、全国・世界で活躍できるよう競技力向上を図る。また、強化しているトップチーム、アスリートが指導者として地域に根差したスポーツ教室やジュニア育成活動をおこなうことで、県全体の競技力向上を図るとともに、特に子どもたちの「憧れ」の存在として、競技力向上のモチベーションとなる環境を整備していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H16)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①国民体育大会 天皇杯・皇后杯	18位	大会中止	15位	15位	15位	—
②オリンピック 出場選手数	18位	夏季32名 冬季 3名	—	—	夏季25名 冬季 5名	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	全競技団体の代表者に対する、年2回のヒアリング。 強化指定チーム、選手の日常活動視察及び面談と、競技力向上に係る大会等における戦力分析。 高校強化指定部、少年クラブの面談及び競技力向上に係る主要大会における戦力分析。 トップアスリート強化拠点クラブへの2回程度のヒアリングによる活動実態の把握。
令和 3 年度	全競技団体の代表者に対する、年2回のヒアリング。 強化指定チーム、選手の日常活動視察及び面談と、競技力向上に係る大会等における戦力分析。 高校強化指定部、少年クラブの面談及び競技力向上に係る主要大会における戦力分析。 トップアスリート強化拠点クラブへの2回程度のヒアリングによる活動実態の把握。
令和 4 年度	上記①～②のとおり 令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>スポーツによる「清流の国ぎふ」を実現するという観点から、必要性が高く重要な事業である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>国民体育大会において、平均を上回る順位（獲得得点）を維持している。今後も目標達成のためには、競技力水準の維持、向上が不可欠であり、更に継続して支援していく必要がある。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>事業の棲み分け、指定の見直し、更新等により、より効率の良い支援が行われている。トップアスリート強化拠点クラブについては、経営面で自立したクラブに向けて、少しずつ安定方向に進んでいる。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 金銭面も含め、競技に集中できる環境が整っていないため、地域支援や企業（雇用等）支援が不可欠である。多くの県民や企業から理解と支援が受けられるよう、地域貢献活動について、ニーズにあった活動内容、頻度を検討し、質を高めていく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか スポーツによる「清流の国ぎふ」の実現に向け、県民に夢と感動をもたらすため、競技力の維持、向上とともに、地域への貢献活動や指導者の確保は必要不可欠な事業であり、継続すべき事業である。強化指定に関しては、他事業との重複がないよう明確に棲み分けすることで更に効果のある事業にする。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	